令和8年度 最上地域在宅医療・介護連携拠点事業

# 出 張 研 修 会 報 告

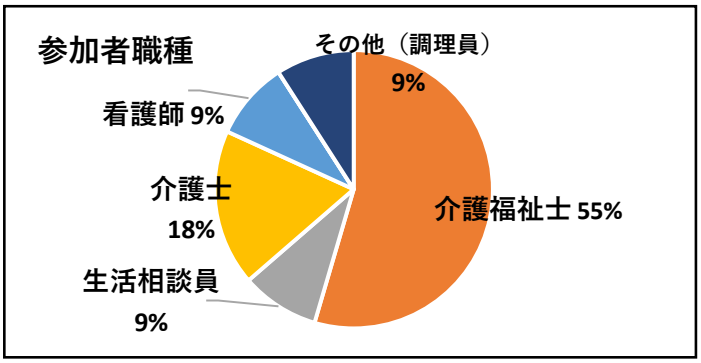
この研修会は、『専門性を高めよう～介護現場で活かせる実践力』をテーマに、在宅・介護現場で働く方々の知識・技術の向上を目指し開催しました。

| | |
|---|---|
| 日　　時 | 令和8年11月11日（水）　14時～15時 |
| 開催場所 | 特別養護老人ホーム 新寿荘 |
| 講　　師 | 山形県立新庄病院 認知症看護認定看護師 青柳奈美子氏 |
| 研修内容 | 「介護現場での認知症ケア～よりよいケアが笑顔を引き出す～」<br>・認知症の基礎知識（疾患・症状）<br>・認知症者と接する時のコミュニケーションの工夫<br>・認知症者の幸せは？ |
| 参加人数 | 12 名 |

アンケート回答状況：参加者　12名、回答者　11名（回答率 91.7%）

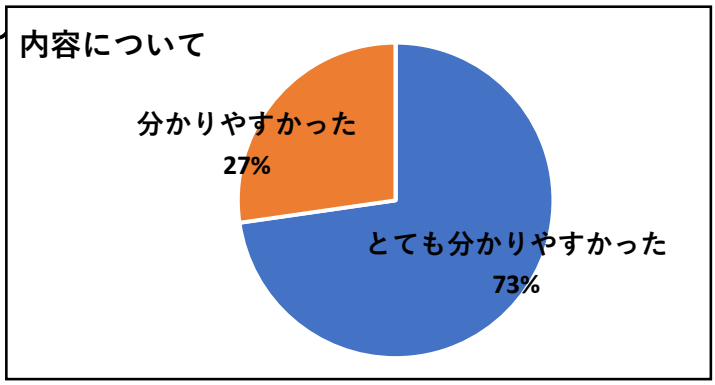
## 参加者職種

| 所属 | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| ケアマネジャー | 0 | 0.0% |
| 介護福祉士 | 6 | 54.5% |
| 生活相談員 | 1 | 9.1% |
| 介護士 | 2 | 18.2% |
| 看護師 | 1 | 9.1% |
| リハビリ | 0 | 0.0% |
| その他（調理員） | 1 | 9.1% |
| 計 | 11 | 100% |




## 1．研修会の内容について、いかがでし

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| とても分かりやすかった | 8 | 73% |
| 分かりやすかった | 3 | 27% |
| あまりわからなかった | 0 | 0% |
| 分からなかった | 0 | 0% |
| その他 | 0 | 0% |
| 無回答 | 0 | 0% |
| 計 | 11 | 100% |




**≪とても役に立った、役に立った　主な理由≫**

・帰宅願望や入浴拒否の方等、具体的な対応の例があり、わかりやすかったです。

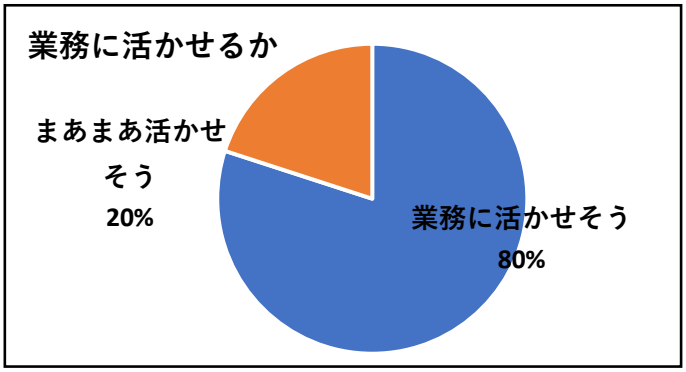
・認知症の方の関わり方や声掛けの仕方などわかりやすかった。また、Q&AでのQで私の施設でも良くある事なのでくわしく説明してくれて良かった。

・とてもわかりやすく、最後の食事の話をリアルに感じました。声がけで利用者の方の生活が変わると感じました。

・事例を用いることで認知症の方の思いや、対応・声がけの仕方をわかりやすく理解することができました。

## 2. 今後の業務に活かせそうですか。

| | 人数 | 割合 |
|---|---|---|
| 業務に活かせそう | 8 | 73% |
| まあまあ活かせそう | 2 | 18% |
| あまり活かせない | 0 | 0% |
| 活かせない | 0 | 0% |
| 無回答 | 1 | 9% |
| 計 | 11 | 100% |




**≪業務に活かせそう、まあまあ活かせそう　主な理由≫**

・BPSDが強く出ている時の対応が勉強になった。

・声がけの仕方で悩んでしまう場面があるので、研修会の内容を思い出して工夫した声がけを行えるように意識していきたいです。

・自分の声がけのふりかえりになった。

・認知症の方へ関わった際に、やさしい口調や目線を合わせて対応したりと7つのポイントを意識し、また本人の思いを感じ取りながら、今後の業務に活かしていきたいと思いました。

## 3. どのような内容が印象に残っていますか。

・相手が鏡になるといった話はまさしくその通りだと思いました。

・入所された認知症の世界を想像し、不安な気持ちに寄り添う事の内容がとても印象に残りました。

・認知症の方が〇〇したつもりに合わせて、コミュニケーションを図るという事。

・お互い笑うことの大切さ

・入院せずに過ごすために。早く気づき対応する事。

## 4. 今後の出張研修会にご希望のテーマ等がありましたらご記入ください。

・対応困難者への事例と対応策

・実践的な食事介助





